

2022年度 介護老人福祉施設サルビア 事業計画

介護老人福祉施設サルビア  
施設長 清澤 秀彦  
施設長補佐 奥原 和幸

1. 運営方針

入居者を管理するのではなく、「日常生活の継続」を基本に、入居者の「個性を大切に」しながら、「プライバシーとプライドを守るケア」を行い、入居者が「自分らしく生きること」を支援します。

2. 施設目標及び行動計画

個別ケアの再考～原点回帰と新たな出発～ をテーマに、  
下記の目標を掲げて取り組みます。

① ICTの活用と専門的スキルを融合し、科学的介護(根拠ある介護)の推進ができる。

- ・意図的に入居者との関わる時間を増やし、専門的スキルを活かした個別ケアの充実を図る。
- ・昨年度導入したICTの有効的な運用から科学的介護(根拠ある介護)を行う。
- ・LIFE連動と記録作業の効率化が図れるように記録システムのカスタマイズを行う。
- ・記録の意義と目的共有に主眼を置いた記録スキル向上研修を行う。

② 外部環境に負けない力を持つことができる。

- ・先3年以内を目途に、「認知症ケア専門士」「認知症介護実践者研修修了」「終末期ケア専門士」「口腔ケアマイスター初級」「ノーリフトケアコーディネーター」「ユニットリーダー研修修了」のいずれかの資格取得を推進し、専門的スキルの強化を図る。
- ・セーフティネットとしての役割を再確認し、“在宅生活が困難な高齢者は専門職である私たちが支える”というプライドとスキルを育む(いわゆる困難事例の方でも自信を持って受け入れる力をつける)。
- ・支援の標準化と底上げに向け、特養マニュアルの効果的な運用と追加整備を行う。
- ・感染対策、災害対策をはじめとした事業継続力強化を図る。

③ 働きやすい職場環境にすることができる。

- ・入居者にとってもやさしいノーリフトケアの導入を行う。
- ・職員休憩室と浴室の充実を図る。
- ・SNSやデジタルツールを活用した情報発信と情報共有のできる体制整備を行う。

### 3. 年間行事予定※

※新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みて、開催方法を検討して実施します。

- ① サルビア祭り（9月第1土曜日）
- ② 家族会（各フロア年1回）、家族向け勉強会（年1回）
- ③ ユニット毎のイベント（随時）  
誕生日会、お花見会、クリスマス会、入居者の希望に応じたイベント等
- ④ 登録ボランティアの協力による行事  
サルビアサロン（毎週金曜日）  
園芸クラブ、おやつクラブ、手芸クラブ、ハーモニカクラブ、コーラス（毎月）  
各種コンサート、歌謡ショー、ドッグセラピー（不定期）  
繕い物（毎月）
- ⑤ 季節の行事  
繭玉作り（1月）、節分（2月）、観桜会（4月）、七夕（8月）、敬老会（9月）、  
焼き芋会（10月）、秋祭り（11月）クリスマス会（12月）餅つき（12月）
- ⑥ 地域交流  
梓川氷室地区の児童との交流（流しそうめん）（8月）  
梓川小学校PTAとの交流（施設清掃、焼き芋大会）（10月）  
梓川地区民生児童委員、梓川地区ボランティアによるボランティア活動（8月～12月）

### 4. 研修予定

※新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みて、開催方法を検討して実施します。

- ① 全体研修、訓練  
感染症予防（訓練含む）：2回/年、災害対策（訓練含む）：2回/年、事故対策：12回/年、権利擁護・虐待防止・身体拘束廃止：2回/年、ターミナルケア：1回/年、医療的ケア（褥瘡予防、喀痰吸引・胃ろう等）：数回/年、認知症ケア：1回/年、記録研修：1回/年、その他：適宜
- ② 新人教育  
外部研修：2講座  
内部研修：座学5日間、介護技術基礎研修3回、排泄ケア研修1回  
チューター制度：1年間
- ③ 松本地域ユニット型施設交流研修「ほっとケアの会」  
※新型コロナウイルス感染症の感染状況により開催の有無を判断します。  
ユニットケアを行う施設同士の交流（岡田の里、ゆめの里朝日、サルビア、他）：5月～2月、合同研修会：3月
- ④ その他  
職員各自の目標に沿った外部研修への参加（直接参加、オンライン参加）

以上

2022年度 あんじゅり事業計画

住宅型有料老人ホームあんじゅり/あんじゅり AW  
管理者 小澤 倫世

1. 運営方針

ここは安住の里～我が家～そしてふるさと

- ・我が家のぬくもりをお届けします。
- ・衣・食・住の快適さと安心をお届けします。
- ・真心のケアで暮らしに笑顔と満足をお届けします。

2. 施設の特徴

- ・会話が弾む広いお風呂。
- ・日差しが入り、集える空間がある。施設内を歩いて巡る事ができる。(皆さんが自主的に歩いて景色を楽しんでいる。)
- ・外出、買い物、通院がしやすい環境。交通量が多いので行き交う人の目にとまりやすい。
- ・毎週移動販売の訪問があり、自分の目で見て選ぶ楽しみがある。

3. 事業所目標及び行動計画

① 入居者の笑顔を引き出す支援をしていきます。

- ・洗濯業務外部委託に伴い、日々の活動や楽しみの創出。併せて訪問介護事業所としての支援内容の見直し。
- ・季節を感じられる施設内外の空間を入居者と職員が一緒に作り上げる。
- ・家族や地域との繋がりができる施設運営。

② 個々の職員の段階に応じた人材育成に取り組み、全員で質の向上を目指します。

- ・記録システムを活かしてケアの内容の確認を行い、職員個々の力量だけに頼らないケアを展開する。
- ・個々の目標(チャレンジカード)を共有する事で自分の目指す姿を明確化して、協同する。
- ・接遇の改善。
- ・訪問介護事業所として、認知症専門ケア加算の算定要件を満たせるように整備を進める。(認知症介護基礎研修、認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修認知症の修了。)

#### 4. 年間行事予定

① 住宅型有料老人ホーム運営懇談会（年1回）

② 季節ごとの行事

1月繭玉作り 2月豆まき 3月桜もち作り 4月お花見 7月七夕飾り  
8月納涼会 9月敬老会 11月焼き芋会 12月クリスマス会

#### 5. 教育・研修予定

① 全体研修

感染症予防（年1回）

虐待防止・身体拘束廃止（年1回）

認知症ケア（年1回）

② 個人研修各々でキャリアパスに沿って個人年間研修計画を作成し（4月）、計画に沿って研修を行う。

2022年度 泉の里 事業計画

住宅型有料老人ホーム泉の里/いずみのさと AW  
管理者 宮澤 ゆかり

1 運営方針

ここは安住の里 ～我が家～ そしてふるさと

- ・我が家のぬくもりをお届けします
- ・衣・食・住の快適さと安心をお届けします
- ・真心のケアで暮らしに笑顔と満足をお届けします。

2 施設の特徴

- ・家庭菜園を通じて利用者と季節を感じて頂ける雰囲気づくり
- ・暖かい職員による、心に寄り添った関わり
- ・自立支援から看取りまで幅広いケアができる。

3 事業所目標及び行動計画

① 入居者様が「出来る事」を続けられることに支援していきます。

●ケアの統一

- ・入居者様個々の想いにそった手順書の作成をし、職員への展開、落とし込み行い確認しながら業務が行える体制づくり
- ・身体介護・生活支援方法のマニュアルを作成し、対応方法の質の標準化を図る。
- ・残存機能が低下することなく、自立支援につなげるように多職種との連携を取りながらサポートします。

② 入居者様の気持ちに「寄り添い」「共感」をし、我が家と思える空間を作ります。

●各入居者を理解する。

- ・入居者一人ひとりの個性を尊重し、「ここに住んで良かった。」と思ってもらえるようにサポートします。
- ・重度・認知症の対応出来る職員の質向上を図るため、必要な研修体制の確立をする。（個人研修計画に沿って、自己スキルアップにつなげる）
- ・職員会議を通じて利用様の情報、職員の悩み共有を計る。

4・年間行事予定 ＊コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みて実施

① 年1回運営懇談会を行い、入居者、ご家族様、民生委員、近隣の方からのご意見を運営に反映させるようにする。

② 外部ボランティア

③ 季節の行事

繭玉作り（1月）、繭玉作り（2月）、ひな祭り（3月）、お花見会（4月）、花植え（5月）、七夕祭り（7月）、夏祭り・スイカ割り（8月）、敬老の日（9月）、ハロウィーン（10月）、焼き芋会（11月）、クリスマス会・演奏会（12月）

④ 季節ごとの特別メニューの提供

（おやつレク月1回、正月、敬老の日、クリスマス行事食）

⑤ 季節湯の実施（リンゴ湯、ゆず湯等実施）

⑥ 避難訓練（年2回）

5・研修予定

① 全体研修

感染予防：1回/年、

虐待防止・身体拘束廃止：1回/年、

認知症ケア：1回/年

その他：認知症基礎教育（4大認知症、周辺症状、接遇等）

② 個人研修

各々で個人研修を作成し、計画に沿って研修を行う。

以上

2022年度 愛香里 事業計画

住宅型有料老人ホーム愛香里/あかりAW  
管理者 水谷 奈美江

1. 運営方針

ここは安住の里 ～我が家～ そしてふるさと

- ・我が家のぬくもりをお届けします
- ・衣、食、住の快適さと安心をお届けします
- ・真心のケアで暮らしに笑顔と満足をお届けします

2. 施設の特徴

- ・施設の周りに遊歩道があり、季節の草木や花が観られる。
- ・歩いて行かれる距離に丸山菓子店、コンビニ、ドラッグストアがある。
- ・アットホームな雰囲気があり利用者、職員に笑顔が見られ明るい。
- ・隣接のさんぽみちとの交流がある。
- ・自立支援から看取りまで幅広いケアができる。

3. 事業所目標及び行動計画

① 施設生活が維持出来るような環境作り。

- ・自立支援への繋がりができるようにケアマネ、家族との情報交換。
- ・介護保険以外でのサービスの提供を提案する。
- ・自立支援から終末期まで幅広く対応できる事の情報発信。
- ・利用者のモニタリングにより状態にあったサービスを見直していく。
- ・職員のスキルアップ、研修に参加してヘルパー会議で把握する体制。
- ・施設設備の安全管理、早期発見して修繕し、生活環境を整える。

② 施設内外のレクリエーションの充実。

- ・コロナ過で制限された中でもマンネリ化しないような生活の提案。
- ・4月～洗濯・清掃業務が委託される事により利用者に寄り添った介護ができる。
- ・職員で考えを出し合い実現に向ける。
- ・あかり通信、インスタグラムに情報発信し家族に安心していただく。

4. 年間行事予定 ※コロナ感染症の感染状況を鑑みて実施

- ① 運営懇談会(年1回)
- ② 外部ボランティア

③ 季節の行事

繭玉作り、書初め(1月)、豆まき(2月)、お花見(4月)  
流しそうめん、七夕(7月)、スイカ割り、花火鑑賞(8月)  
焼き芋(10月)、クリスマス会(12月)

(利用者と一緒に計画、実行などの過程を行う)

その他随時おやつレクレーションを実施(利用者参加型)

5. 教育・研修予定

① 全体研修

感染症予防:1回/年、虐待防止・身体拘束廃止:1回/年、認知症ケア:1回/年

② 外部研修

個人研修計画に沿って参加

キャリアパスに応じて参加

④ その他

全体研修

以上



## 2022年度 千歳緑 事業計画

サービス付き高齢者向け住宅千歳緑/ちとせみどり AW  
管理者 北澤 知美

### 1・運営方針

わたしらしく、いつまでも

- ・安心した暮らしができる環境を作ります
- ・住み慣れた地域で暮らすことができる支援をします
- ・生きがいを持ち続けることができる支援をします

### 2・施設の特徴

- ・陽あたりが良く、広くて清潔で明るい雰囲気。
- ・松本駅からも近く街中で、生活するのに便利。
- ・各居室にキッチン、トイレがあり同じ建物1階にはデイサービスがある。
- ・屋上に出て爽快感を得られる。

### 3・事業所目標及び行動計画

- ① 「楽しみ」が持てる生活支援を提供する。
  - ・モニタリングにより、個々の「望む事、出来る事」を引き出して支援する。
  - ・有償サービスによる生活の充実を図る。
  - ・居室キッチンを使って楽しみに繋げる。
  - ・季節に合わせての行事開催。
- ② サービスの質の向上に努める。
  - ・研修に参加し報告と勉強会の機会をつくる。
  - ・個々のケアを見直し、統一したケアができるようにする。
  - ・記録システム導入や、洗濯の委託により入居者と関わる時間を増やす。

### 4・年間行事予定 ※新型コロナウイルス感染症の感染状況により開催を検討。

- ① 運営懇談会 (年1回)
- ② 外部ボランティア (年2~3回)
- ③ 季節の行事 (年8~10回)
- ④ 避難訓練 (年2回)

### 5・教育、研修予定

- ① 全体研修  
感染予防：1回/年、虐待防止・身体拘束廃止：1回/年、認知症ケア：1回/年
- ② 外部研修 個人研修  
個人研修計画に沿って参加 (キャリアパスに応じて) (目標を掲示し意識と共有)

喀痰吸引の取得（1～2名）

以上

2022年度 グループホームサルビア 事業計画

グループホームサルビア  
管理者 西澤 守隆

1. 運営方針

地域資源を利用し地域との連携を図りながら、馴染みの関係の中で、自分の役割や居場所があり、我がままに暮らせ、自分が必要とする時にそばに必ず心を寄せてくれる人がいて、その関わりが「申し訳ない」と感じさせない暮らしを共にします。

2. 事業所目標及び行動計画

①地域、入居者家族との交流・情報発信の見直し、実施

- ・ZOOM 面会ができる環境の整備、ご家族への情報提供方法の検討し、実施していく。
- ・おたっしやカフェ内容の検討し、再開に努める。

②研修を活用し、人材育成に取り組む

- ・キャリアパスに応じた研修への参加をアプローチしていく。
- ・内部研修を明確化し、実施していく。
- ・職員同士のモチベーションの為に、サンクスカードを取り入れ、活用していく。

③入居者と共に生活していく

- ・入居者のできそうなことを探っていき、一緒におこなっていく。
- ・一緒に調理等ができる時間、方法を検討していく。
- ・職員は一人で全て行うのではなく、一緒に行うという意識を持ちながら業務を行う。

3. 年間行事予定 ※コロナの状況により開催の判断とする。

- ① 運営推進会議 年6回(2か月に1回)
- ② おたっしやカフェ 毎月第1金曜日
- ③ 絵手紙 毎月第4土曜日
- ④ 家族会 年2回
- ⑤ カレー会、サルビア祭り(9月第1土曜日)
- ⑥ 避難訓練 年2回
- ⑦ お花見、バラ園見学、紅葉狩り
- ⑧ 入居者お楽しみ会 月1回

4. 教育・研修予定

① 事業所内研修

看取り研修、感染対策研修、身体拘束虐待防止研修:各1回/年(全体研修)  
認知症研修、事故対策、その他研修(GH内部研修)

② 外部研修

・認知症介護基礎研修 ・認知症介護実践者研修 ・実習指導者

③ その他

・長野県宅老所・グループホーム連絡会主催の研修

以上

2022年3月

2022年度 居宅介護支援事業所サルビア 事業計画

居宅介護支援事業所サルビア  
管理者 船坂 菜津子

1. 運営方針

利用者の尊厳を尊重します。

利用者が自由にサービスを利用出来るようにお手伝いします。

思いやりの心を持った介護支援専門員を目指します。

2. 事業所目標及び行動計画

特定事業所(Ⅱ)の算定事業所として運営基準を遵守し、質の高いケアマネジメントを行うとともに、多様化する個々の生活環境に合わせた支援を行う。

① 事業所内における勉強会を充実させ、ケアマネジメントの質の向上に繋げる。

1) 事例検討の実施(毎月)。

2) 職員間の情報交換、課題の共有、相談をスムーズに行うことができるよう、ケアマネ会議を有効活用する。

3) ケアプラン勉強会の実施。

4) その他、事業所内勉強会の実施。

② 安定した事業所の運営。

1) 地域包括支援センター、医療機関、地域との信頼関係を築き、利用者を増やす。

2) 困難ケースの積極的な受け入れ。

3) 事業継続計画を共通理解し、新型コロナウイルスや自然災害に備える。

4) ICTの活用の検討。

③ 事業所の更新(令和5年6月)に向けた自己点検の実施

1) 運営基準減算項目に該当しないように、担当介護支援専門員と他の職員とのダブルチェックを実施する。

2) 記録の整備

3. 年間行事予定

介護支援専門員会議(毎週火曜日)

4. 教育・研修予定

① 事業所内研修(3事業所合同勉強会)

在宅でのターミナルケア

認知症勉強会

事例検討会

ケアプラン勉強会

② 外部研修・勉強会

他法人との事例検討会等

ケアマネ勉強会（ケアマネなんでも相談会）（毎月）  
地域包括支援センター主催の勉強会  
オンライン研修  
その他随時参加

以上

2022 年度 ヘルパーステーションサルビア 事業計画

ヘルパーステーションサルビア  
管理者 岩岡 由香利

1. 運営方針

その人がその人らしく、安心して住み慣れた家で、自立した生活ができるよう、笑顔と思いやりの心をもって支援します。

2. 事業所目標及び行動計画

① 地域から信頼される事業所を目指す

- ・ケアマネと連携をとりながら利用者のニーズに対応できる質の良いサービスの提供をおこなう
- ・ターミナルの方や重度の利用者の受け入れを積極的に行う
- ・職員一人一人の介護技術の向上、専門的知識の習得など積極的な外部研修や内部研修の参加体制を整える
- ・職員間のコミュニケーションを図り、報告、相談、連絡をしっかりとおこないチームワークを大切にする

② 安定した事業所の運営を目指す

- ・居宅介護支援事業所にサービスの空き情報を定期的にする
- ・今まで関わりのあるケアマネとの信頼関係を図り、さらに新しいケアマネへの営業をおこなうサービスに繋げていけるようにしていく
- ・毎日身体介護でサービスに入る方を4名は確保していく
- ・職員が気持ち良く働ける職場環境を作り、職員の定着に繋げていく
- ・危機管理体制の統一した認識を持つ

3. 年間行事・

- ・月1回のヘルパー会議

4. 教育・研修予定

① 事業所内研修

在宅でのターミナルケア、認知症の勉強会 3事業所の合同勉強会(居宅、さんぽみち)

② 全体研修

感染症予防、身体拘束廃止、虐待防止、認知症ケア:各1回/年

③ 外部研修

サービス提供責任者研修(1名)、個人研修計画に沿って参加、キャリアパスに応じて参加  
以上

## 1. 運営方針

ピンピンきらり わたしらしく、いつまでも

- ①自分のしたいことのできる支援をします。
- ②自分で選べる支援をします。
- ③自分らしい体づくりの支援をします。

## 2. 事業所目標及び行動計画

～職員一人ひとりが目的を持ちいきいきと支援をすることで、  
利用者様の生きがいへの支援に繋げていく～

### ① 安定した黒字経営ができる。

- ・稼働率 70%以上を目指す。
- ・入浴、個別機能訓練の受け入れ人数の増加に向けた体制づくりを行う。
- ・継続的な新規利用者の獲得に向け、事業所へアプローチを行う。
- ・インスタ、ホームページを活用し、外部への情報発信を行う。
- ・LIFEの運用方法の検討、システムの構築を図る。  
(科学的介護推進体制加算・個別機能訓練加算Ⅱ算定開始の準備を進める。)
- ・感染症、災害時のBCPを作成する。

### ② 利用者様の生きがい支援に取り組むことができる。

- ・「美事お助け隊」プログラムの拡大を図る。
- ・地域との繋がりを意識したプログラムを立案する。  
(認知症を有する方への支援に力を入れる、ずーらの活用方法を再検討する。)
- ・外出プログラムを再開する。(コロナの状況に応じて)
- ・利用者満足度アンケートの実施、集計、分析を行う。(年1回)
- ・体力測定の再開、利用者様へのフィードバックを行う。(年2回)

### ③ 働きやすい職場環境にすることができる。

- ・有休休暇の取得率向上を図る。
  - ・更なるマニュアルの見直し、整備を行い業務の効率化を図る。  
(各職種ごと業務内容を視覚化し、役割分担・時間の使い方を見直す。)
- ・会議のあり方を見直す。



(職員一人ひとりが参加できるような会議を目指す。)

- ・キャリアパスに沿った研修への参加、学びの機会を増やす。
- ・新人教育、職員のスキルアップに向けた取り組みを行う。
- ・職員間でのコミュニケーション機会を増やしていく。

### 3. 年間行事予定

#### ① 季節の行事

- ・ 菰玉作り (1月)・節分 (2月)・お花見送迎 (4月)・畑作り (6月)・七夕飾り (7月)
- ・ 流しそうめん (8月)・餅つき／しめ縄づくり／初夢ジャンボズーらくじ (12月～1月)

#### ② ボランティアによる行事

- ・ コンサート (コロナの状況に応じて)
- ・ しめ縄づくり

#### ③ その他

- ・ イベントパン教室
- ・ 料理教室
- ・ 筑摩児童センターとの交流 (コロナの状況に応じて)
- ・ 避難訓練 (年二回、水害含む) …地域住民の参加を検討
- ・ 外出プログラム (コロナの状況に応じて)
- ・ 学生ボランティア／職業体験受け入れ
- ・ 庄内地区行事への参加 (災害関係の研修、清掃活動)

### 4. 教育・研修予定

#### ① 事業所内研修

- ・ 感染対策・・・担当：看護職員 (年二回)
- ・ トリムと日常生活動作について・・・担当：PT
- ・ 介護職員向け介護のポイント・・・担当：PT
- ・ 虐待防止、身体拘束廃止について・・・美事会議ごと
- ・ 認知症ケアについて・・・介護職員

#### ② 外部研修

- ・ 法人内研修・・・適宜
- ・ L I F E 導入に向けて
- ・ 他施設の見学

#### ③ その他

- ・ 資格の取得

以上

2022年度 保育所さるびあ 事業計画

保育所さるびあ  
園長 小岩井 綾

1 運営方針

「一人ひとりが健康で安全に過ごし元気に遊べる子どもの育成」

- ・子どもたちが笑顔で元気にのびのびと安心できる保育を提供します。
- ・その子らしさを大切にしながら個々の成長を支援し、園児、保護者と保育士が信頼関係を持ち、子育て期に安心して預けていただける保育園を目指します。

2 保育園目標及び行動計画

“笑顔で元気にのびのびと” よく食べよく寝て元気よく遊ぶ

年齢別の目標

0歳児・・・生理的欲求を満たし信頼関係を築き生活できるよう支援します。

- ① 健康的で安全な環境の中で、生活欲求を満たし生活リズムを作ることができる。
- ② 保育者との安定した関わりを通して、情緒の安定を図り、物や人への関心が育つようになる。

1歳児・・・個人差に配慮し、気持ちを受け止めながら友達や自然への関心が持てるように支援します。

- ① 一人ひとりの生活リズムを整え生理的欲求を満たし、健康で安定した気持ちで過ごせるようになる。
- ② 探索活動や、好きな遊びをする中で、歩くことや全身を使って遊ぶことを楽しめるようになる。

2歳児・・・自我の芽生えを受け止め、保育者や友達との関わりを大切にできるよう支援します。

- ① 保育者との関わりの中で、安心感を味わいながら自分の気持ちを伝えようとする。
- ② 保育者に援助されながら、基本的な生活習慣を身につけ自分でやってみようとする。
- ③ 生活や遊びの中で、友達との関わりを広げて、言葉のやりとりを楽しんだり思いを伝えようとしたりする。

- ・ 年間指導計画、月案、個別指導計画を作成し、今の子ども様子を捉えながら、様々な経験ができるような活動を考えていく。
- ・ 毎月、園だよりや保健だよりを配布、季節ごとの写真注文、保育参観などを行い、

- また毎日の連絡ノートのやりとりを通し、園での様子を家庭に知らせていく。
- ・ 未満児研修の出席や講習会、職員会等行い、保育の向上に努める。

### 3, 年間行事予定

#### ① 季節の行事

お花見、プール遊び、サルビア祭り参加、焼き芋、クリスマス会、おもちつき参加、豆まき

#### ② その他

保育参観 (年2回)  
避難訓練 (毎月実施)  
不審者対応訓練 (年2回)  
身体測定 (毎月実施)  
内科検診 (年2回)  
歯科検診  
誕生日会  
サルビア交流会 (月1回程度)

### 4, 職員研修

- ・ 保育安全研修
  - ・ 施設長研修
  - ・ 3歳未満児担当保育士研修
  - ・ 保育士等キャリアアップ研修
  - ・ 法人研修
- など

以上

2022年度 小規模多機能型居宅介護さんぽみち 事業計画

小規模多機能型居宅介護 さんぽみち  
管理者 小林 俊介

## 1. 運営方針

～わたらしい人生をいつまでもわたらしく堂々と生きる～

- ・今までの人生で培ってきた「持ち味」や「力」をさんぽみちでも発揮できる支援をします。
- ・地域に混ざり、地域とつながり、地域の方が気軽に立ち寄れる、地域の拠り所となる場所をつくっていきます。
- ・スタッフが生き生きと働ける、支え合えるチームづくりを目指します。
- ・認知症などの介護が必要な状況になったとしても、大切にしたい暮らしを送れるよう本気で向き合い一緒に歩んでいきます。

## 2. 事業目標及び行動計画

### ① 地域とつながる活動

- ・運営推進会議は地域との連携強化を図る機会であることを理解し、施設の情報発信と地域の方の事業所理解を深める。
- ・地域への貢献活動をするため、清掃活動以外にも、地域の課題を事業所として共有し、介護関連のみに捉われず地域の問題、社会問題にも取り組む。
- ・地域行事に利用者と一緒に参加する。(コロナの状況を踏まえて)
- ・地域の社会資源となる事業所作りをしていく為に、多くの地域の方に運営推進会議への参加を促し、地域の方の事業所理解を深める。
- ・年3回の「さんぽみち便り」を作成し、ブログやインスタグラムは少なくとも月に1度は活動を載せ多くの方にさんぽみちの活動を知ってもらう。

### ② さんぽみちの特色を出し、運営の安定化を目指す。

- ・令和4年度上期中に登録定員24名以上の確保を目指す。
- ・さんぽみちを利用してみたい、紹介したい、と思ってもらえる具体的なイメージがわくチラシ作成し、広報活動を実施する。
- ・センター方式などのツールを使用し、利用者が持っている力をさんぽみちでも自分の生活でも活かすことができる支援をする。家族や関係者にも持っている力の情報共有ができる。
- ・できないことに着目するのではなく、できること、できる可能性があることに着目し、ご本人、ご家族、職員ともに前向きな気持ちになれるような支援する。個々の利

用者の強みを職員一人ひとりが言葉にできる。

- ・余暇活動や日常生活動作訓練を通して、利用者個々の機能維持を図る。
- ・認知機能の維持及び向上のために、レクリエーションを充実させる。
- ・第三者評価、外部評価からの意見を参考に、自分たちの日々のケアを振り返るよい機会とし、質の高いケアや環境を整えるために運営推進会議やさんぽみち会議で検討し解決できる課題からクリアしていく。

③史上最高のチームを作るに向けて、チーム力を強化する。

- ・誰かのアイデアを否定せず。全員で応援し協力する。
- ・誰かの困りごとを一緒に考え取り組む。個人の目標の手助けをする。
- ・自らのステップアップに向けて職員は勉強会・研修会に参加し、一人一人の力の向上を目指す。
- ・先輩や後輩、立場などを意識せずに自由にスタッフ間で感謝を贈り合う。

### 3. 職員研修

感染対策研修

身体拘束虐待防止研修

看取りケア研修

年に1回

認知症サポーター養成講座（外部向け）

年に1回以上

法人研修

3事業所合同勉強会（サルビア居宅、サルビア訪問介護、さんぽみち） 年に数回

長野県宅老所・グループホーム連絡会主催の研修 適宜

### 4. 年間行事予定

#### ① 季節の行事

ひな祭り、繭玉、節分、お花見、七夕飾り、ハロウィン、クリスマス、餅つき、季節ごとに多彩な行事を企画する

#### ② その他

運営推進会議

2カ月に1回（計6回）

避難訓練

年2回

利用者誕生日会

お楽しみ会

以上

2022. 3月

2022年度 社会福祉法人梓の郷 経営管理部 事業計画

経営管理課長 高橋 健太  
経営企画室長 高橋 優喜

1 運営方針

適正な人員配置と組織機能の充実化を進めます。

2 部署目標及び行動計画

職員の働きやすさ、働きがいに繋がる職場環境の整備と人材育成を目指します。

(1) キャリアパスとそれに連動した研修計画の立案と運用

- ① 個々の等級、役職に応じた研修の整備と案内
- ② 非正規職員のキャリアパスおよび人事考課制度の立案

(2) 人材確保に向けた各種認証制度の取得と外部への情報発信

- ① ハローワーク、教育機関等との連携強化及びSNS等による情報発信
- ② 福利厚生の実質化を図り、様々な認証制度を取得することで、職員の働きやすさと法人イメージUPに繋げる

(3) 持続可能な法人運営のための取り組み

- ① 経費削減及び費用対効果を念頭に、適切な外部委託を推進する
- ② 各事業所の現状に沿ったBCPの作成

(4) 地域の福祉課題解決に向けた新規事業の検討

以上